

今後の検討事項について

令和8年7月8日(水)

文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部 施設企画課

1. 背景

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、GIGAスクール構想等を踏まえ、とりまとめた「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告」（令和4年3月、以下「最終報告」という）の取りまとめから約4年が経過。

（最終報告とりまとめ後の状況変化）

- 令和6年12月の諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」を受け、中央教育審議会において次期学習指導要領に向けた検討が進められ、令和7年9月に教育課程企画特別部会にて、改訂に向けた基本的な考え方が「論点整理」として取りまとめられた。学校施設の在り方に関連する主な事項としては以下が挙げられる。
 - 次期学習指導要領に向けた基本的な考え方（「主体的・対話的で深い学び」の実装、「多様性の包摂」、「実現可能性の確保」）
 - デジタル学習基盤の活用を前提とした学び
 - 多様な子供たちの包摂に向けた、学校として編成する教育課程の柔軟化、個々の児童生徒に着目した教育課程編成の特例の新設・拡充
 - 特別支援教育の充実、幼児教育の充実
 - 情報活用能力の抜本的向上
- 主体的・対話的で深い学びの実装やデジタル学習基盤を前提とした学びは最終報告と共通点がある。
- 令和8年2月には「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040年に向けた「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」～」が取りまとめられ、高等学校改革を進めることが示された。
- 学校における働き方改革、校務DXの推進等の教師を取り巻く環境整備や部活動の地域展開など、学校現場を取り巻く状況変化や、近年の記録的な猛暑、自然災害の激甚化・頻発化、脱炭素化の推進の強化、学校の適正規模・適正配置、建設費の高騰、技術者不足など、学校施設を取り巻く状況にも変化がみられている。

2. 検討方針・検討事項

検討方針

- 報告書「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告」の内容を引き続き重視しつつ、学習指導要領の改訂、高校教育改革、その他の学校現場を取り巻く状況の変化を踏まえた今後の学校施設の在り方について議論し、必要に応じた各学校施設整備指針の改訂の方向性について検討する。
- なお、学校施設を取り巻く状況変化や、従来より課題となっている老朽化対策、防災機能強化、環境への配慮の観点も含め、今後の学校施設の整備の推進方策について議論を行うこととする。

検討事項

- 以下3点について検討を行う。
 - ①近年の教育施策の動向を踏まえた学校施設の在り方
 - ②学校施設を取り巻く状況変化や従来からの課題への対応も含めた今後の施設整備の推進方策
 - ③上記を踏まえた各学校施設整備指針の改訂の方向性

3. 検討事項の論点例

①近年の教育施策の動向を踏まえた学校施設の在り方

- 新しい時代の学びを実現する学校施設を有効に活用するためのポイントとは
- 個々の児童生徒（通級による指導が必要な児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒、不登校児童生徒、特定分野に特異な才能のある児童生徒）に対応した施設環境とは
- 校内の教育支援センターに必要な施設環境とは
- ICT活用に関して更に必要となる施設環境とは
- 特別支援教育・幼児教育の充実を踏まえた施設環境とは
- 高等学校の特色化・魅力化に対応するために必要となる施設環境とは
- その他、教師を取り巻く環境整備、部活動の地域展開等の学校現場を取り巻く状況変化に対し、施設の面から強化すべき点等はあるか

②学校施設を取り巻く状況変化や従来からの課題への対応も含めた今後の施設整備の推進方策

- 学校の適正規模・適正配置、建設費の高騰、技術者不足などの学校施設を取り巻く状況変化について、施設面から充実や強化すべき点等はあるか
- 老朽化が進行している学校施設の適正管理、防災機能強化、バリアフリー化の推進、環境対策、など、引き続き対応が必要である各課題への対応について、施設面から充実や強化すべき点等はあるか

4. 今後の検討スケジュール案

年度	2024 R6 年度	2025 R7 年度	2026 R8年度	2027 R9年度	2028 R10年度	2029 R11 年度	2030 R12 年度	2031 R13 年度	2032 R14 年度
学校施設の検討に関する動き			<p>検討事項①を中心に 関する実態把握・ 論点の明確化</p> <p>論点整理取りまとめ</p>	<p>検討事項①・② について 今後の取組方針 を議論</p> <p>在り方及び取組方針とりまとめ</p>	<p>指針改訂の議論 (検討事項③)</p> <p>指針改訂の方向性とりまとめ</p> <p>指針の改訂作業</p> <p>指針改訂</p>				
学習指導要領の改訂に関する動き	諮問	中央教育審議会	<p>審議まとめ(夏頃)</p> <p>答申(8年度中)</p> <p>告示</p>	<p>周知・徹底</p> <p>告示</p>	<p>全面実施(幼)</p> <p>移行期間</p> <p>移行期間</p> <p>周知・徹底</p>		<p>全面実施(小)</p>	<p>全面実施(中)</p>	<p>年次進行(高)</p>

※学習指導要領の改訂に関する動きは、前回改訂と同様のスケジュールと仮定した場合であり、今後変更の可能性がありうる。

※「指針」は学校施設整備指針(幼、小、中、高、特支)を指す

5. 今年度のスケジュール案

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回在り方会議	学校視察による 現状把握		第2回在り方会議	学校視察による 現状把握		第3回在り方会議	論点整理とりまとめ	第4回在り方会議

※今後変更の可能性がありうる。

※学校視察に合わせて、委員間での意見交換も実施予定。